

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和1年11月7日(2019.11.7)

【公開番号】特開2018-117192(P2018-117192A)

【公開日】平成30年7月26日(2018.7.26)

【年通号数】公開・登録公報2018-028

【出願番号】特願2017-5427(P2017-5427)

【国際特許分類】

H 03M 3/02 (2006.01)

G 10H 1/00 (2006.01)

H 03M 1/08 (2006.01)

【F I】

H 03M 3/02

G 10H 1/00 Z

H 03M 1/08 B

【手続補正書】

【提出日】令和1年9月17日(2019.9.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

入力された入力信号と、前記入力信号に基づいて生成された第1帰還信号との差を積分し、積分結果を出力する積分処理と、

前記積分処理により出力された前記積分結果を量子化することにより、第1量子化信号を出力する第1量子化処理と、

前記積分処理により出力された前記積分結果を量子化することにより、補正值信号を出力する第2量子化処理と、

前記第1量子化信号に、前記補正值信号を遅延させた補正值遅延信号を加算処理することにより、前記第1帰還信号を出力する第1帰還信号出力処理と、

前記第1量子化信号に基づいて、或るクロック周期の中心に対して非対称なパルス幅の信号を含む出力信号を出力する出力処理と、

を実行する処理部を備えている、情報処理装置。

【請求項2】

前記補正值信号は、前記出力処理が出力する前記パルス幅のパルス幅中心と、前記或るクロック周期のクロック周期中心との差を補正する補正值を示す信号である、請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記第1帰還信号は、前記加算処理により出力された補正值加算信号を遅延させている、請求項1または2に記載の情報処理装置。

【請求項4】

入力された入力信号と、前記入力信号に基づいて生成された第1帰還信号及び第2帰還信号との差を積分し、積分結果を出力する積分処理と、

前記積分処理により出力された前記積分結果を量子化することにより、第1量子化信号を出力する第1量子化処理と、

前記積分処理により出力された前記積分結果を量子化することにより、補正值信号を出

力する第2量子化処理と、

前記第1量子化信号に基づいて、或るクロック周期の中心に対して非対称なパルス幅の信号を含む出力信号を出力する出力処理と、

を実行する処理部を備え、

前記第1帰還信号は、前記第1量子化信号を遅延させ、

前記第2帰還信号は、前記補正值信号を遅延させている、情報処理装置。

【請求項5】

請求項1乃至4のいずれかに記載の情報処理装置と、

前記情報処理装置からの出力に基づいて、デジタル・アナログ変換した楽音を発音する発音部と、

を備えた電子楽器。

【請求項6】

入力された入力信号と、前記入力信号に基づいて生成された第1帰還信号との差を積分し、積分結果を出力する積分処理と、

前記積分処理により出力された前記積分結果を量子化することにより、第1量子化信号を出力する第1量子化処理と、

前記積分処理により出力された前記積分結果を量子化することにより、補正值信号を出力する第2量子化処理と、

前記第1量子化信号に、前記補正值信号を遅延させた補正值遅延信号を加算処理することにより、前記第1帰還信号を出力する第1帰還信号出力処理と、

前記第1量子化信号に基づいて、或るクロック周期の中心に対して非対称なパルス幅の信号を含む出力信号を出力する出力処理と、

を実行する情報処理方法。

【請求項7】

入力された入力信号と、前記入力信号に基づいて生成された第1帰還信号との差を積分し、積分結果を出力する積分処理のステップと、

前記積分処理のステップにより出力された前記積分結果を量子化することにより、第1量子化信号を出力する第1量子化処理のステップと、

前記積分処理により出力された前記積分結果を量子化することにより、補正值信号を出力する第2量子化処理のステップと、

前記第1量子化信号に、前記補正值信号を遅延させた補正值遅延信号を加算処理することにより、前記第1帰還信号を出力する第1帰還信号出力処理のステップと、

前記第1量子化信号に基づいて、或るクロック周期の中心に対して非対称なパルス幅の信号を含む出力信号を出力する出力処理のステップと、

をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

態様の一例の情報処理装置は、入力された入力信号と、前記入力信号に基づいて生成された第1帰還信号との差を積分し、積分結果を出力する積分処理と、前記積分処理により出力された前記積分結果を量子化する第1量子化処理と、前記積分処理により出力された前記積分結果を量子化することにより、補正值信号を出力する第2量子化処理と、前記第1量子化処理により量子化された第1量子化信号に、前記補正值信号を遅延させた補正值遅延信号を加算処理することにより、前記第1帰還信号を出力する第1帰還信号出力処理と、前記第1量子化処理により量子化された第1量子化信号に基づいて、或るクロック周期の中心に対して非対称なパルス幅の信号を含む出力信号を出力する出力処理と、を実行する処理部を備えている。